



株式会社 フラスコ



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今回は、市内企業の所有する様々な技術を紹介する「我が社の得意技」などについてお知らせします。

もっと詳しく知りたい方は…
○産業情報支援センター
TEL0897-53-0010 FAX0897-53-0011 Eメール info@saijo-sics.co.jp
サイクスのホームページもご覧ください。
http://www.saijo-sics.co.jp/

「うちに切れないネジはありません。モノが形になるまではあきらめません」と株式会社フラスコの藤原弘一社長は語る。フラスコは昭和48年創業、先代の社長が会社を設立し、時代の流れに合わせて幾度も工場を増築。今年、現在の場所へ新工場を建設、労働環境等に配慮し、空調設備を整えた。創業当時は、大手家電メーカーからの部品製造受注が全事業の90%以上を占める下請け企業であったが、経済のグローバル化による市場の空洞化などに対応するため、自社の得意技術を活かした経営方針に改めることを決意。現在では、ネジ切りを敬遠したり、規格通りのネジしか切らない企業が多い中、フラスコは自社の高度な切削技術を活かして特殊規格のねじ切りやアリ溝加工(特殊な溝加工)にも対応。タンダグステン、インコネル、チタンなどの難切削材料を中心に、ユー

■得意分野は金属切削

ザリの意向に合わせた製品を1個からでも受注し、短期間にて製造している。



▲優れた技術で製造された製品の数々

自社製のバイト
工具(バイト)を作成



▲人の技術と機械の技術が融合し、新しい製品を生み出す工場内の様子

市場では、コンピュータにより自動で機械の動きを制御するNC化が進む一方で、単なるNC化では対応が難しい製品も存在する。そのような市場を支えるのが、中小企業を持つ高度な技術である。フラスコには特殊な切削条件を達成するために手作りで切削工具(バイト)を作成

■品物プラス会社の体制が大

する技術者が2名所属、自社の高度な切削技術を下支えている。また、技術者一人ひとりの創造性を重視する藤原社長の方針もあり、モノ作りが心底好きな若手技術者が多数所属。男女関係なくやる気のある者を採用したいという藤原社長の意向もあり、女性の大卒技術者が所属していることも、地域中小企業として特徴的だといえる。
「所有する高度な技術を若い人に移転していきたい。一人前の技能を身に付けるには4年の覚悟が必要です」と藤原社長は話すが、職員の定着率が100%という数値が、職員のモチベーションの高さを物語っている。

(レポート)技術相談室
チーフアドバイザー(林)
申込方法 11月15日(木)までに産業情報支援センターのホームページからお申し込みいただくか、電話またはファックスでお申し込みください。
ファックスでお申し込みの際は、各学校を通じて配布した申込書に必要事項を記入して送信してください。
申込先 産業情報支援センター

我が社の得意技 ⑥
どんなオーダーにも対応する金属部品切削技術
株式会社フラスコ (飯岡)

参加者募集のお知らせ
わくわく化学教室&
工場見学(第2回目)

化学のおもしろさを多くの人に知ってもらうため、クラレ西条工場にて、今年度2回目の「わくわく化学教室&工場見学」を開催します。

テーマ 不織布ってなあに?
日時 12月1日(土) 9時~13時30分(昼食付)

内容 わくわく化学教室と工場見学を行います。
対象 小学5・6年生(保護者同伴も可能です)

定員 30人(申込者多数の場合は、抽選で決定します)

場所 クラレ西条工場(朔日市892)